

プライベートコンサートのご案内

拝啓 花々が咲き揃う良い季節となりました。皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび、ドイツ・ハンブルグにて音楽活動をしております愛娘が一時帰国し、札幌にてプライベートコンサート『澤井美紀 ソプラノ リサイタル ～歌の世界～』を行うこととなりました。ご多用の折とは存じますが、もしよろしければ、是非ご来場いただけますと大変幸甚に存じます。

敬具

(北海道情報大学) 澤井 秀

090-3575-6934

suguru.sawai@do-johodai.ac.jp

日時：平成30年7月29日（日）17：00～（1時間半ほど）

会場：六花亭札幌本店ビル10階 きたこぶしホール

札幌市中央区北4条西6丁目3-3 （JR札幌駅南口から徒歩3分）

- ※ 曲目（プログラム）及び出演者プロフィールを添付いたしましたので、ご覧ください。
- ※ 花束その他のご心配は無用でございますし、服装も堅苦しくなく、手ぶらで気楽に来ていただけますと幸いです。
- ※ 会場は100名ほどが入れる小さなホールでございます。席は自由席とさせていただきますので、お好きな席にお座りください。
- ※ 六花亭札幌本店ビルには、6階に「ふきのとうホール」がございますが、そこではなく、10階の「きたこぶしホール」ですので、お間違えのなきようお願いいたします。

以上

澤井美紀 ソプラノ リサイタル ～歌の世界～

プログラム

《教会音楽》

シャルル・フランソワ・グノー 〈バッハ＝グノー〉 アヴェ・マリア
ヨーゼフ・ハイドン ”また神は言われた～今や野は爽やかな緑をさし抱いて”
(オラトリオ『天地創造』より、ガブリエルのアリア)

《ドイツ歌曲》

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト 春への憧れ
フランツ・シューベルト 鱒
野ばら

(ハンブルク出身の作曲家)

ファニー・ヘンゼル 五月の歌
フェリックス・メンデルスゾーン 歌の翼に
ヨハネス・ブラームス 日曜日

《作曲家の母国語ではないが、ドイツ語がオリジナルな曲》

エドヴァルド・グリーク 薔薇の季節に
夢

～同じ作曲家の母国語の曲～

ソルヴェイグの歌
君を愛す(*)

(*)作詞のハンス・クリスチャン・アンデルセンはデンマーク人で、この『君を愛す』もデンマーク語の歌詞だが、そもそもノルウェーは長い間デンマークに統治されていた為、デンマーク語がオフィシャルな書き言葉の時期があった。

《フランス歌曲・シャンソン》

モーリス・ラヴェル ハバネラ形式の小品 [ヴォカリーズ]
カミーユ・サン＝サーンス 鶯と薔薇 [ヴォカリーズ]

クロード・ドビュッシー グリーン (水彩画 I～『忘れられた小唄』より)
ジョゼフ・コズマ 枯れ葉

((20分 休憩))

《ロシア歌曲》

ロシア民謡

黒い瞳

トロイカ

セルゲイ・ラフマニノフ

ここは素晴らしい…

歌うな、美しい女よ!

《日本の歌》

越谷達之助

初恋

山田耕筰

中国地方の子守唄

久石譲

Stand alone(NHK ドラマ『坂の上の雲』主題歌)

菅野よう子

花は咲く(「NHK東日本大震災プロジェクト」テーマソング)

YOSHIKI

愛する人よ(スペシャルドラマ『東京大空襲』主題歌)

《オペラ・オペレッタ・ミュージカルのアリア》

ジャーコモ・プッチーニ

”私のお父さん”

(オペラ『ジャンニ・スキッキ』よりラウレッタのアリア)

ヨハン・シュトラウス二世

”侯爵様、あなたという方は”

(オペレッタ『こもり』より、アデーレのアリア)

ナシオ・ハーブ・ブラウン

”雨に歌えば”

(ミュージカル映画『雨に歌えば』より)

フレデリック・ロウ

”踊り明かそう”

(ミュージカル『マイ・フェア・レディ』より)

演奏時間:(休憩を含め、約1時間半)

出演者プロフィール

澤井美紀(ソプラノ)

東京生まれ。武蔵野音楽高等学校、武蔵野音楽大学で声楽を学んだ後、ドイツはハンブルクに渡り、ヨハネス・ブラームス音楽院等で引き続き声楽の研鑽を積む。学業の傍ら、ノーマン・シエトラー、チャールズ・スペンサー、ウルフ・ベストライン等の講習会に参加した。演奏家資格コースを最高点で卒業したのち、様々な催し物やハンブルク市庁舎での演奏、及びハンブルクの中央教会を含む様々な教会でソリストとして活躍している。12の言語を操るレパートリーには定評がある。また、夏には野外歌劇場にてオペラ合唱団員としても活躍している。

江口真紀子(ピアノ)

東京生まれ。東京藝術大学卒業後、ドイツはハンブルクに渡り、ハンブルク音楽院にて歌曲伴奏・コレペティートルの大学院過程を学び、最優秀で卒業。卒業後は前衛的な歌劇場 (Openloft) の音楽監督及びコレペティートルとして働き始める。その後小劇場・Allee Theater、Taschenoper = リューベック、ハンブルク国立音大とハンブルク音楽院のユースフォーラムにてもコレペティートルを務める。

コンサート伴奏者としても活躍の場を広げ、ロストックとハンブルクの両市にてLive Music Now のメンバー及び奨学生でもあった。自身はエルンスト・ヘフリガー、ノーマン・シエトラー、チャールズ・スペンサーの講習会に参加。講習会の伴奏ピアニストとしては、声楽においては、タニア・アスペマイアー、クヌート・ショッホ、クラウス=ディーター・ユング、マーティン・シェベスタ、クルト・ヴィトマー、マーグレート・ホーニッヒ等の教授陣の伴奏を務める。また、ウィーン国立歌劇場にて、合唱指導をトーマス・ラング、ソロのレパートリーをスティーブン・ホプキンスの元で学んだ聴講生でもあった。最近では教会音楽家としても活躍の場を広げ、また、Balthasar Neumann Chor(指揮:トーマス・ヘンゲルブローク<NDR>)を含む多くの合唱団にて、伴奏者として、また時に指導者としても活躍の場を広げている。2014年より、ハンブルク音楽院のコレペティートルの教員としても働いている。